



甲状腺低リスク乳頭癌の進行予測に有用な分子マーカーの探索

2014年1月から2019年12月までに甲状腺乳頭癌（低リスク群）のために手術治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「甲状腺低リスク乳頭癌の進行予測に有用な分子マーカーの探索」という研究を行います。この研究は、2014年1月1日から2019年12月31日までに日本医科大学付属病院内分泌外科にて、甲状腺乳頭癌（低リスク群）のために手術治療を受けた患者さんの病理組織標本を検討する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：甲状腺低リスク乳頭癌の進行予測に有用な分子マーカーの探索

研究期間：研究実施許可日～2026年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 内分泌外科 杉谷 巖

(2) 研究の意義、目的について

予後が良いとされる甲状腺乳頭癌（低リスク群）の中にも一部進行性で再発を来す例があります。低リスク乳頭癌の診断にて、手術により切除された甲状腺の病理組織標本を用いて、各種の増殖因子や遺伝子の発現について検討することにより、正確な予後予測のための分子マーカーを明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2014年1月1日から2019年12月31日までに日本医科大学付属病院内分泌外科にて、甲状腺乳頭癌（低リスク群）のために手術治療を受けた患者さんの病理組織標本などを解析し、低リスク乳頭癌の正確な予後予測のための分子マーカーを見いだすことを目的に、石灰化や血管密度に関係する因子や血管増生に關与する増殖因子およびマイクロRNA等の遺伝子発現についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：手術時に切除した甲状腺組織

情報：年齢、性別、甲状腺機能手術術式、TNM分類等臨床的リスク分類に關与する因子、手術所見、術後経過観察結果

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 内分泌外科 教授 杉谷 巖

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24243

メールアドレス：isugitani@nms.ac.jp